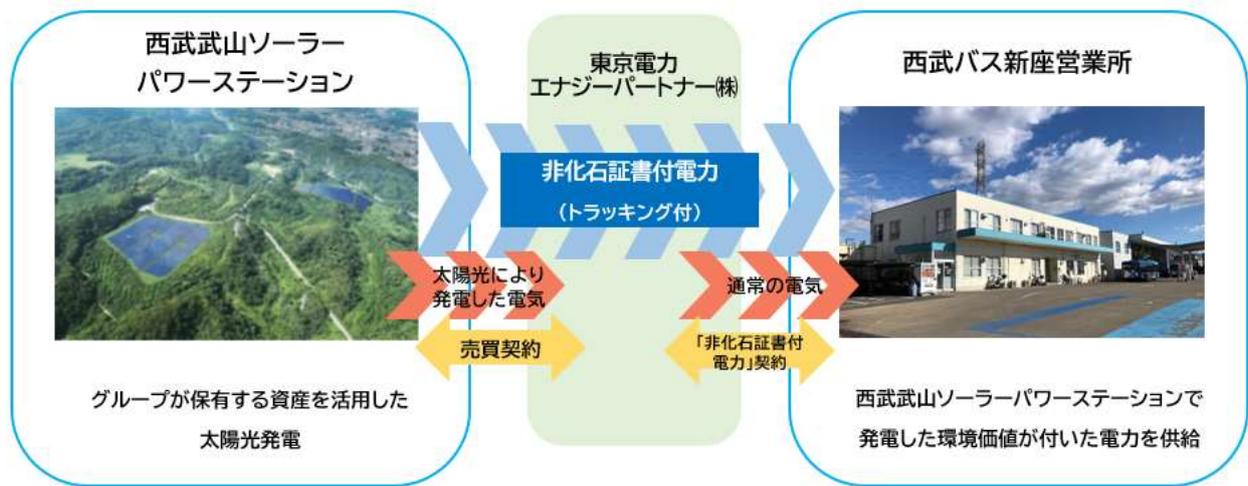


2023年3月24日

西武バス株式会社

**西武グループ保有施設で発電する非化石証書付電力供給**  
**「西武バス新座営業所」100%再生可能エネルギー電力を導入**  
 ～3月25日から、使用電力におけるCO<sub>2</sub>排出ゼロへ～

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：塚田正敏）は、新座営業所で使用する電気使用量の全てを、2023年3月25日（土）より、西武グループが運営する「西武武山ソーラーパワーステーション」で発電する環境価値が付いた電力で賄います。



今回の取り組みは、東京電力エナジーパートナー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：秋本展秀）の協力により、3月25日（土）より、実質再生可能エネルギー由来の環境価値が付いた電力（非化石証書付電力）※1が供給されることで、これまで新座営業所における電力使用により年間約80t排出していたCO<sub>2</sub>が実質ゼロとなるものです。

同営業所では、2023年2月より、屋根に太陽光発電設備を設置し、発電される電気を営業所施設に供給して自家消費するオンサイトPPA※2を導入しており、日中においては、同営業所内で使用する電気の一部を再生可能エネルギーで賄っております。

西武バスでは、かねてより安全・安心を第一として、環境や社会情勢が抱える課題解決に向けた取り組みを推進し、エコドライブの実施や、ハイブリッドバスや燃料電池バス、バイオディーゼル燃料、リニューアブルディーゼル燃料の導入などを評価いただき、「令和4年度 彩の国埼玉環境大賞優秀賞」を受賞しております。この度の取り組みにより、引き続き脱炭素社会の実現に寄与するべく、環境にやさしく、地域と調和できる公共交通機関を目指してまいります。

詳細は別紙の通りです。

- ※1 非化石証書付電力（トラッキング付）とは… 特定の電源種（再生可能エネルギー）や発電所所在地などの付加価値的な属性情報をトラッキングし紐づけをした非化石証書と、通常の電力を組み合わせた、実質CO<sub>2</sub>フリーの環境価値付電力。
- ※2 オンサイトPPAとは…PPA事業者が所有する太陽光発電設備を、需要家（電気を使用する企業）の敷地や施設に設置し、需要家がPPA事業者から発電した電気を購入して自家消費する契約形態

## 【別紙】

### 1. 開始日

2023年3月25日（土）

### 2. 当該営業所

西武バス株式会社新座営業所（埼玉県新座市本多 1-12-10）

### 3. 西武武山ソーラーパワーステーションについて

- (1) 施設名称：西武武山ソーラーパワーステーション
  - (2) 事業者：西武鉄道株式会社（2023年4月1日より株式会社西武リアルティソリューションズに移管）
  - (3) 住 所：神奈川県横須賀市衣笠町ほか
  - (4) 面 積：約 13.6ha
  - (5) 設置パネル数：31,080 枚
  - (6) 発電電力量：約 956 万 kWh（一般家庭約 2,660 世帯分）
- ※西武グループ保有の太陽光発電所のうち最大発電量の太陽光発電所です。

### 4. オンサイト PPA の取り組み

当該営業所においては、2023年2月より、発電される電気を営業所施設に供給して自家消費するオンサイト PPA を導入しており、日中においては、バスの運行管理システムの運用から空調・照明まで、整備工場を含めた同営業所内で使用する電気の一部を再生可能エネルギーで賄っております。

この取り組みにより、災害時に停電した場合でも、営業所の運行管理機能が維持されることでバス運行が継続できるなど、地域住民のライフライン確保だけでなく、地域レジリエンス強化にも大きく貢献することも可能です。

## ■「西武グループサステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョンに基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通じて創造する社会価値として「4領域と12アジェンダ（重点テーマ）」を設定し、積極的に取り組んでいます。地球温暖化抑制への更なる貢献に向け、環境負荷削減目標として、CO<sub>2</sub>排出量をグループ全体で2030年度までに2018年度比46%削減を設定しております。

詳細ページ：<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>



西武グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。